

消化器外科Ⅱで過去に手術を受けたことがある患者さんまたはご家族の方へ

( 臨床研究に関する情報 )

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 脾温存尾側膵切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討 -国内多施設共同研究-

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 平野 聡、消化器外科Ⅱ、教授

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 滋賀医科大学医学部 外科学講座、谷 眞至、教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

日本膵切研究会施設会員全国178施設 別紙 参照

[研究の目的] 脾温存尾側膵切除術長期経過症例における胃静脈瘤発生と臨床病理学的因子との関連性について検証し、周術期の長期的な安全対策を可能にすること。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2011年1月1日より2018年12月31日までの間に当院で脾温存尾側膵切除術を受けた患者さん

利用する情報

1) 患者背景：手術時年齢、性別、手術日、疾患名、身長、体重、随伴疾患の有無、術前抗凝固/抗血小板薬内服の有無、2) 手術因子：手術アプローチ、手術時間、出血量、リンパ節郭清の程度、脈管温存の有無、標本切離長、3) 術後合併症：膵液瘻、腹腔内膿瘍、胃内容排泄遅延、術後出血、その他合併症、再手術の有無、4) 血液検査所見(術前、術後3年目、術後5年目)：ヘモグロビン、白血球数、血小板数、総タンパク、アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、5) 消化管出血の有無(術後1年目まで、術後3年目まで、術後5年目まで)、6) 脾臓摘出の有無、脾臓摘出施行日、脾臓摘出の理由、7) 画像所見(術前、術後1年目、術後3年目、術後5年目)：血管開存性、胃壁外血管径、胃壁内血管径、脾梗塞 Grade、内視鏡検査での血管拡張の有無、8) 転帰：腫瘍再発の有無、最終生存確認日

この研究は、全国の日本膵切研究会参加施設178施設で実施します。上記のカルテ情報は、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除したうえで脾

2022年4月12日(第1.2版)

温存尾側膵切除術長期経過症例における胃静脈瘤発生と臨床病理学的因子との関連性についての検討のために、研究事務局である滋賀医科大学医学部に CD-R で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2023年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院消化器外科Ⅱ 担当医師 浅野 賢道

電話 011-706-7714 FAX 011-706-7158